



市民活動センターニュース

編集 / こまき市民活動ネットワーク

INDEX

- * 6月1日、「小牧市市民活動センター」オープン / セレモニー、使用ルール、概要ほか
- * 「こまき市民活動ネットワーク」誕生 / 役員紹介ほか
- * 愛知万博で活躍の小牧の市民活動団体
- * 情報ひろば / イベント、講演・コンサート、募集、案内、トピックスなど



ハイライトは市民・市民活動団体・企業・行政・市議会の代表5者による開幕セレモニーでした。センターの使命は「つなぐ」にあるので、テープカットより開幕がふさわしいと、入り口開口部を覆ったカーテンの白布を一齐に引くスタイルのセレモニーが新鮮でした。

6月1日、小牧市市民活動センター開設

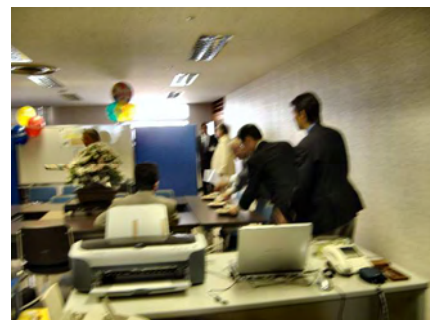
市民活動の総合的な拠点として「小牧市市民活動センター」が6月1日、市公民館4階にオープンしました。市民活動に関する情報の提供やセミナーの開催など、市民活動のサポートの一方、市民や市民活動の交流の場として、また市民・企業・行政の3者をつなぐ、出会いの場としても期待が寄せられています。

公設民営、協働のまちづくりの拠点に

4月に小牧市は市民活動を推進するための指針となる「小牧市市民活動推進条例」を施行しました。市民が個性的で多様性のある豊かな暮らしを実現していくには、市民はもとより、市民活動団体・NPO、さらには民間企業など、地域の力を有効に活用するまちづくりが必要となったからです。

条例では市民・市民活動団体・企業・小牧市がお互いに連携して築く仕組みづくりを強調しています。とりわけ、市民活動の拠点となるセンターの設置と市民活動団体への資金の助成が2つの柱として盛り込まれました。市民活動を活性化し、よりよい地域社会の実現を目指す、官民一体の新しいまちづくりの枠組みが整ったわけです。

センターは小牧市が設置し、運営をこまき市民活動ネットワーク（こまき市民活動センター設立準備会改め）が受託する、公設民営のスタイルでスタートしました。



バルーンを使ったウエルカム・アーチ、手づくり赤飯、メンバーのアイデア満載のこの日のセンターは夜になってもお祝いムードに溢れていました。

社会貢献を考える市民はこのセンターを介して、各種市民活動団体を知る、企業は地域の課題をともに考え、企業市民としての社会貢献を果たす一方、行政は市民活動が活発になることで、市民の市政参加を促すメリットもあります。もちろん、この三者が協働して、地域の課題を事業化する機会も多くなるはずですよ。

市民活動センターって何をするとところ？

情報の受・発信基地として

小牧市市民活動センターの開設場所は市民館4階の90㎡ほどのスペースです。これまでスプリングルームと呼ばれていたところといえば、分かりやすいかも知れません。

ここにはこまき市民活動ネットワークのスタッフやボランティアが常駐し、市民活動に関する情報の提供、また相談やサポートなどを行います。事務局スペース以外に利用者の使い勝手を考えて、作業、会議、交流、情報の各スペースに分かれていますので、用途に合わせて、自由に使うことができます。

センターを利用したい方へ

早速、センターを利用してみたいという方のために簡単に利用のルールを説明しておきましょう。

誰でも利用できます

市内で市民活動を行っている団体、個人はもちろん、在住、在勤、在学の方で市民活動に関心のある方なら、どなたでも利用できます。

事務局代わりに使えます

会議スペースや作業スペースが自由に使えます。会議スペースは無料、作業スペースでは印刷機やパソコンなどが使えます。

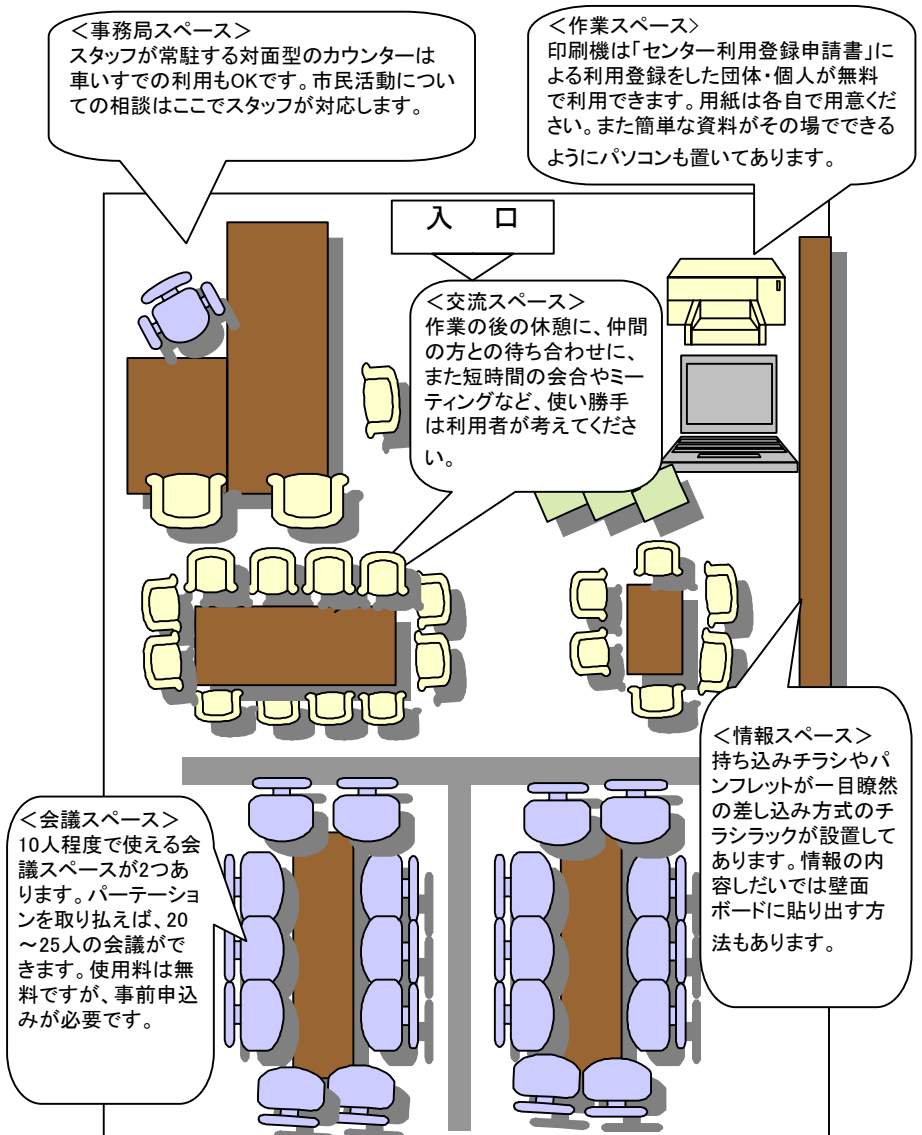
利用登録が必要です

会議スペースや印刷機等の備品を使いたい団体・個人の方はセンターへの利用登録が必要です。申込み用紙はセンター窓口、または小牧市企画課に備えてあります。

なお、条例に基づく登録が終了済みの団体はセンターの利用登録は必要ありません。

利用にあたって

センターは全館禁煙です。また使用の後はゴミを持ち帰ってください。



登録しませんか！

市へ登録することにより、市民活動団体は、
①市のホームページなどに掲載され、団体の活動内容等を広くPRできます。
②市各課に対して広く情報を公開するため、事業等への参入機会が増えます。
③活動事業に対して資金等の助成を受ける資格となります。
等のメリットがあります。

申込み窓口は市企画課です。

事務局も始動

小牧商工会議所から派遣の中嶋洋喜さんの奮闘により、開設以前から準備を進めてきた事務局ですが、このほど女性スタッフ1名を加え、新体制でスタートしました。

事務局次長/中嶋洋喜(若草町在住)

事務職員/平手友子(岩崎在住)

中嶋さんは「合瀬川景観楽しむ会」、平手さんは「Nancy & AliceのBallonはともだち」と、それぞれに市民活動団体で活躍しています。なお、中嶋さんの派遣は9月末日までとなっています。

八雲町・笹画伯が油絵を寄贈

市民活動センターの開設を祝って、北海道八雲町の笹勇一さんより油絵30点が贈られました。笹さんは同町を拠点に活躍する第一美術協会所属の洋画家です。文化協会会長でもある笹さんは小牧市民らによるミュージカルの八雲町上演をきっかけに交流を深め、今回の寄贈につながりました。「雄鉾岳と割岩の春」と題する作品は小牧荘近くの川岸から雄鉾岳を臨むもので、同地を訪ねたことのある人には馴染み深い風景です。

センターの愛称募集します！

市民活動センターの愛称を募集します。親しみやすく、声に出してゴロがいいこと、さらに小牧をイメージするものなら、と思っています。愛称が決まり次第、当紙もそれにちなんだ名称に変更の予定です。締め切りは7月15日。応募はハガキ、FAX、持ち込み、どんな方法でも結構です。奮って、ご応募ください。

施設概要

名称	小牧市市民活動センター
設置の趣旨	市民活動に関する情報の提供やセミナーの開催、また市民活動に参加したい方、市民活動団体を設立したい方への相談やサポート。
開設	平成17年6月1日
運営形態	公設民営
所在地	小牧市小牧2丁目107番地
電話	TEL 74-4011
FAX	FAX 74-4070
E-メール	komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp
HPアドレス	近く開設の予定です。
床面積	90㎡
休業日	休業日は月曜日と年末年始(12月28日～1月4日)
利用時間	午前10時～午後6時

こまき市民活動ネットワーク誕生

市民・市民活動団体・企業・行政の協働による、まちづくりを目指す新組織「こまき市民活動ネットワーク」の設立総会が4月24日、パークアリーナ小牧で開かれました。同ネットワークは小牧青年会議所、小牧商工会議所の呼びかけで03年2月にスタートしたこまき市民活動センター設立準備会が母体。小牧のまち起こしの起爆剤としてNPO・ボランティア団体などが結集するための拠点・市民活動センターをつくらうと声をあげ、市民レベルで「小牧市市民活動推進条例」(4月1日施行)の素案づくりや市民活動団体の実態調査を行ってきました。

市民活動の中間支援組織として

条例の施行により、公設民営の市民活動センターの開設が実現し、運営の受け皿となることが決まった準備会は、さらなる発展を期して、新組織の設立を決意しました。総会では代表理事に青山弘光さん(設立準備会代表)が、また顧問には小牧商工会議所会頭の犬北勝彦さん、名城大学都市情報学部教授の昇秀樹さんが就任するなどの人事や事業案が承認されました。同組織は市民活動の中間支援組織として、情報の共有化、人材育成、ネットワークの構築などに取り組み、行政からの業務委託を含め、幅広くまちづくり支援協働事業を展開します。一方、NPO法人化を目指し、同ネットワークではただちに準備に入りました。なお、総会に先立ち、昇教授の「いま、なぜ、NPOなのか?」と題した講演もありました。

多分野を網羅する会員層

会員は市内で活躍するNPO、ボランティア団体はもとより、企業・社団法人・財団法人・社会福祉法人・協同組合・経済団体等、多分野にわたるのが、同ネットワークの特徴です。地域の抱える様々の課題に対し、知恵を出し合っ、問題解決の糸口を探るなど、お互いの強みを生かす仕組みづくりには格好の構成といえます。

結果として、地域に根ざした新規事業の創出も期待できそうです。

なお、市民・市民活動団体・各種団体・企業から、それぞれ選出された役員(理事19名、監事2名)は次の通りです。(敬称略、順不同)

◎理事

<市民活動団体>

友優の会/生涯学習ボランティア・こまき/ミュージカル劇団「スパーク」/おおくさ探検隊/米野さわやか会/小牧災害ボランティアネットの会/小牧市女性の会/こまきe-コミュニティーネットワーク

<市民>

青山弘光/丹羽ミツホ/出口美紀/秦野利基/舟橋伸治/松田敏弘



祝辞に立った中野直輝市長は「まちづくりの主役は市民です。市民生活の向上を図るためには市民、市民活動団体、企業、行政、それぞれが協働しながら地域を支える仕組みづくりが必要です。多くの市民に支持され、新しいスタートの日を迎えたこまき市民活動ネットワークのこれからの活躍に期待します」とエールを送りました。

<企業>

あおい交通株式会社/東海ゴム工業株式会社

<団体>

社会福祉法人小牧市社会福祉協議会/社団法人小牧青年会議所/小牧商工会議所

◎監事

家田岳士/岡田正則

2団体にまちづくり顕彰

小牧市による「市民まちづくり顕彰(平成16年度)」はクリーン桜井とこまき市民活動センター設立準備会の2団体の活動が対象となりました。自治会組織と協働でゴミ問題に取り組んだクリーン桜井、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを提唱し、中間支援組織の設立を目指すこまき市民活動センター設立準備会の活躍に対しての顕彰です。市民と行政の新しい関係を目指して設けられた、この顕彰事業は17年度より「小牧市市民活動助成金交付制度」に引き継がれます。

「こまき市民活動ガイド2005」発行

社団法人小牧青年会議所は市内の市民活動団体ら231団体の概要を掲載した「こまき市民活動ガイド2005」を発刊しました。B4版128ページの冊子には活動内容、理念、会員数、連絡先などが盛り込まれています。

どんな団体が、どこで、どんな活動をしているのか、その全体像はなかなか掴めませんでした。こまき市民活動センター設立準備会の実態調査で明らかになったデータをもとに発刊に踏み切ったものです。団体相互の交流やネットワークづくりに、これから参加しようとする人のきっかけに、多様な場面に利用されています。

ひと言コメント

①所属団体

②職業

③住まい

代表理事 青山弘光さん

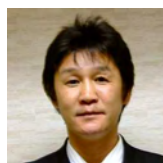


PLOFILE

- ①NPO心技塾代表理事・経営技術支援 ネット顧問
- ②NPO主宰
- ③多気中在住

「信なくば立たず」「地域力のタネは地域の現場にあり」をモットーに、市民・市民活動団体・企業・行政が一体となって、1人でも多くの志士を輩出し、市民が輝く創造の町を創出しようではありませんか!

副代表理事 中村大太さん



PLOFILE

- ①社団法人小牧青年会議所 理事長
- ②会社役員
- ③二重堀在住

人に当てにされる存在になりたいと思うと同時に、どうせ一度の人生なら、自分のやりたいことに正直になりたい。市民活動とのつながりが自分の人生に彩りを添えてくれると信じています。

副代表理事 松田敏弘さん



PLOFILE

- ①こまきエコネット顧問
- ②会社役員
- ③外堀在住

農業公園予定地の中に環境教育の場所を整備し、子どもたちに楽しく環境を学ぶことができる場が提供できたらと思います。建物は在来工法による土壁づくり、市民参加で作るところからプロジェクトを立ち上げたい。

副代表理事 秦野利基さん



PLOFILE

- ①小牧ワイアンドット友好市民の会副会長
- ②会社役員
- ③東田中在住

小さいけれど強いところさし、そんな皆さんのつばやきが結ばれたところに新たな夢が生まれました。構想から10年、いよいよ開設です。まだまだ課題はいっぱいですが、きっと小牧は面白くなる!ご期待ください。

副代表理事 丹羽ミツホさん



PLOFILE

- ①ゆかりの会代表
- ②大学聴講生で 大学非常勤講師
- ③間々原新田在住

“今宵逢ふ人みな美しき”と晶子は詠みましたが、小牧での出会いは“逢ふ人みな素晴らしき”の連続です。市民の皆様にとって、今まで以上に素晴らしい出会いと感動と活動の織物が広がってゆきますようお願いいたします。

副代表理事 出口美紀さん



PLOFILE

- ①こまきエコネット副会長/ITを育てる母親の会
- ②自営業
- ③城山在住

私にとって「何ができるか、何の役に立つか」を試す場が市民活動でした。おかげで楽しい仲間が増え、住んでいる街に愛着が持てるようになりました。この思いを子ども達に感じてもらえるような動きがしたいです。

万博ニュース

万博参加の市民グループ・団体が続出

開幕中の愛知万博(愛・地球博)は順調に入場者数を伸ばしているようです。史上はじめての市民参加の万博にふさわしく、当地においても万博に参加した、これから参加するという、市民グループや市民活動団体の話題に事欠きません。

小牧市女性の会(稲垣孝子代表)は全国を横断するかたちの「菜の花プロジェクト」に参加。「資源・エネルギーの循環」をテーマに菜の花の栽培から菜種油しぼり、廃食油石けんづくりなどのリサイクル活動をワークショップで紹介しました。また横町の聖王車保存会(伊藤敬一会長)は「山車・からくりプロジェクト」に市指定有形民俗文化財の山車を出展しました。そして8月6日予定されている「小牧の日」には全市あげての参加が早くも話題となっています。小牧市吉五郎太鼓、米野太鼓など太鼓で8団体、ルロウ・プラス・オルケスターなど、吹奏楽が3団体、さらに呼び物は平成夏祭りのパフォーマンス参加団体より10団体が出展の予定です。また尾張中央農業協同組合小牧支部からは特産の桃が持ち込まれ、会場で販売することも計画されています。一方、会場ボランティアにも多数の市民が参加し、要約筆記、ゴミの分別指導などで協力しました。



〈米野太鼓〉
シンセサイザーと太鼓のコラボレーションが注目を集めました。



〈小牧市女性の会〉
ワークショップでは菜種油しぼりの実演も行いました。

情報ひろば

イベント

第33回総合文化祭

6月17(金)～19(日)日、10～17時、市民館など。展示、茶席・生花、芸能の3部門に分かれて実施する。問い合わせは☎76-1188(市文化協会)

子どもフェスティバル・インこまき

7月3日(日)、10～16時、パークアリーナ小牧。親と子のふれあいを目的に小牧市子ども会連絡協議会が行う恒例行事。プラバン工作や竹細工の体験コーナー、リングキャッチ、ペタンクのスポーテッジなどを楽しむほか、市制50周年記念事業として、ミニウォークラリーも実施する。問い合わせは☎75-3817(小牧市子ども会協議会)

案内

桃花台まつり

7月30(土)・31(日)日、17～21時30分、桃花台中央公園。ステージを使ってエンターメント、盆踊り大会、飲食・物販等の出店、フリーマーケットなど、催し満載の住民参加の手づくりイベント。問い合わせは☎79-9087(宮崎さん)

小牧市防災訓練

8月28日(日)、9～12時、小牧中学校。災害に備えて、市消防本部を中心に自主防災会、婦人消防クラブなどが参加して、防災訓練を実施。小牧災害ボランティアネットの会は支援本部の立ち上げおよびボランティアコーディネーターによる災害支援の予行演習を展開する。問い合わせは☎75-1878(鶴坂さん)

夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会

8月30日(火)、6時集合、パークアリーナ小牧。NHKの長寿番組・ラジオ体操の生放送が行われる。問い合わせは☎74-6767(小牧市教育委員会体育課)

KIAふれあい子供体験ツアー

小牧市国際交流協会がいろんな国の子どもたちと日本の子どもたちがふれあい体験を通じて、国際交流しませんか、と呼びかけている。イベントの開催日は7月9日(土)、8時30分～16時。瑞浪サイエンスワールドで地球46億年の旅を体験する。問い合わせは☎76-0905(小牧市国際交流協会)

講演・コンサート

リスト音楽院フレンドシップコンサート

愛知県ハンガリー友好協会が恒例のフレンドシップコンサートを開催する。7月30日(土)14時、味噌市民センターにて開演。問い合わせは☎76-4347(志村さん)

小牧市交響楽団第11回定期演奏会

「ドイツ音楽の調べ」と題しての今回の演奏会は7月16日(土)、小牧市市民会館ホールにて15時開演。問い合わせは☎76-1188(市文化振興課)

募集

ザリガニ釣り

9月18日(日)、10時から12時岩倉自然生態園。野外遊び塾リトルトリアーが自分で作った釣りさおでザリガニを釣る自然体験の催しを行う。問い合わせは☎76-3358(小林さん)

トピックス

文芸誌「駒来」400号記念出版

小牧文芸協会では月刊発行の文芸誌「駒来」がこの5月号で400回を数え、記念号を発行した。中野市長からもお祝いのメッセージが寄せられた。問い合わせは☎73-7600(穂積さん)

「大山川の自然に親しむ会」環境大臣表彰
大山川の自然に親しむ会(倉知利之会長)が平成17年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞した。

万博で活躍の市民活動団体一覧

月/日	団体名	開催場所	内容
3/27(日)	米野さわやか会 米野子供会	瀬戸会場 愛知県館	世代間交流による「街かどの美化」を発表
4/16(土)	米野太鼓・吉五郎太鼓	長久手会場 おまつり広場	「尾張東部地域の日」
4/23(土) 4/29(祝)	聖王車保存会	長久手会場 日本広場	山車・からくりプロジェクト「山車百輪揃揃え」
4/15(日)	小牧市女性の会	長久手会場 おまつり広場	ワークショップ。菜種油で揚げたドーナツの無料配付など
4/26(火) 4/28(木)	るだん小牧/風の会/小牧ふるさと塾胡馬の会	長久手会場 日本広場	ワークショップ 未来継承プロジェクト「あいちお城フェスティバル」
5/26(木)	イボレイマリコ・カトリア・フラダンススタジオ	長久手会場 愛・地球広場	ハワイアンショー
5/26(木)	小牧市国際交流協会ほか	長久手会場 EXPOドーム	ナショナルデー「タンザニア共和国」
8/6(土)	太鼓8団体、吹奏楽3団体ほか	長久手会場 おまつり広場	「小牧市の日」
8/10(水)	小牧市国際交流協会ほか	長久手会場 EXPOドーム	ナショナルデー「エクアドル」
8/6(土)	こまきエコネット	瀬戸会場 愛知県館	リポート山中さんを迎えて「環境ミニコンサート」
8/14(日)	ミュージカル劇団「スパーク」	長久手会場 おまつり広場	創作ミュージカル「青く輝く地球のために」を上演

地元の川・大山川の自然を大切にしようとして立ち上がった同団体の環境保護活動が認められたもの。

西川直見さん、絵本を出版

国際児童画協会代表の西川直見さんが「老木と少女」と題した自作の絵本を出版した。ストーリーは邪魔になり、伐られることになった老木が少女の願いで移植され、病気の人たちの癒すというもの。問い合わせ☎77-2375(西川さん)

尾張小牧歴史文化振興会が法人格を取得

尾張小牧歴史文化振興会(永田清成理事長)がこのほど、NPO法人として県より認証を受け、7月9日(土)14時より名鉄小牧ホテルコミュニティホールで設立総会を行う。なお、同日15時より宝井馬琴さんを招き、「小牧長久手の戦い」と題して、設立認証記念講演会も開催する。問い合わせは☎42-9800(尾張小牧歴史文化振興会)

竹炭工房が完成

おおくさ探険隊、一宮女子短期大学が地域と連携して、5月末に大草・「ほだい樹」ハーブ園の一面に竹炭を焼くための窯を完成した。周辺の里山の竹林を間引きし、竹炭、竹酢液をつくる活動を展開中。畑の除虫や土壌改良に、また河川の浄化にも活用している。土・日曜ごとが作業日。問い合わせは☎79-2000(おおくさ探険隊)

渡辺賢二さん逝去

小牧ワイアンドット友好市民の会会長の渡辺賢二さん(53歳)が6月3日、逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

編集を終えて

オギャーと産声はあげたものの、この先、どう育つのやら。守備範囲の広さに比べ、人、モノ、金、そして肝心の情報の乏しいこと。みなさんのご一報、お待ちします。(伊)